

## 指定管理者評価表

様式1

## 1 基本情報

<b>(1) 公の施設の名称</b>	
堺市原池公園体育館、原池公園スケートボードパーク、陶器スポーツ広場(陶器テニスコート、陶器野球場)	
<b>(2) 施設の設置目的</b>	
市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、健康及び体力の増進に資するため設置	
<b>(3) 所管部局</b>	
文化観光局 スポーツ部 スポーツ施設課	
<b>(4) 指定管理者名</b>	
原池スポーツチャレンジ共同体 (美津濃株式会社、ミズノスポーツサービス株式会社、大林ファシリティーズ株式会社大阪支店、利晃建設株式会社)	
<b>(5) 指定期間</b>	
平成28年4月1日から平成33年3月31日まで(5年間)	
<b>(6) 主な事業</b>	
<p>①施設の管理運営に関する業務(使用申込の受付等・利用料金の徴収・施設、設備、器具及び備品の維持管理・利用案内等に関する業務)</p> <p>②自主事業の企画及び実施に関する業務(スポーツ教室の企画及び実施・トレーニング事業の実施・その他の指定管理者が提案し行うスポーツ振興事業)</p> <p>③公園施設の管理許可による駐車場管理業務</p> <p>④その他の業務(職員の雇用、配置、研修・施設内の目的に適したスペースの利用・目的外使用の取扱い・文書管理・業務報告・統計資料等の作成・関係機関等の連絡調整、スポーツ行政等への協力・緊急時等への対応・指定期間終了にあたっての業務、利用者情報等の引継ぎ)</p>	
<b>(7) 有料施設の有無</b>	
有(利用料金制)	
<b>(8) 公募・非公募の別</b>	
公募	
<b>(9) 主な利用者</b>	<b>(10) 市内における受益対象者数</b>
市民	不特定多数
<b>(11) 近隣の類似施設名及び当該施設の評価に用いられている指標</b>	
無	

## 2 管理運営状況

## (1) 特筆すべき事項(地域貢献等の実績、取組、成果等)

- ①毎月1回公園及び外周路のゴミ収集(休館日)  
 ②堺市長杯原池スケートボードコンテストの継続的な実施(地元利用者の増加)  
 ③地元だんじり運営の為休館対応  
 ④原池フェスタでの無料イベントの開催(年1回実施)

## (2) 利用者サービス

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指定管理者名	ミズノグループ	ミズノグループ	原池スポーツチャレンジ共同体	原池スポーツチャレンジ共同体	原池スポーツチャレンジ共同体
ア 利用者数(人)	201,349	240,388	244,846	217,591	/
イ 稼働率(%)	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり	
ウ 利用者満足度(%)	接客対応の満足度 71%	接客対応の満足度 70.2%	接客対応の満足度 97%	接客対応の満足度 95%	
「利用者サービス」における市による状況分析	11月から3月まで、大・中アリーナが特定天井工事により閉鎖したため、利用者数は大・中アリーナで前年度比約41,000人減であるが、小アリーナは約20,000人増、他施設はほぼ横ばいであった。利用率・利用者満足度は引き続き高水準を維持している。				

## (3) 収支状況(単位:円)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(予算)
ア 収入	指定管理料	49,816,000	49,810,000	57,944,000	61,887,040	57,080,000
	利用料金	59,678,640	64,917,530	68,714,620	58,542,575	62,630,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他収入	6,963,924	7,180,271	90,410	69,770	30,000
合 計		116,458,564	121,907,801	126,749,030	120,499,385	119,740,000
イ 支出	人件費	71,807,317	61,537,756	57,640,145	53,598,763	50,800,000
	委託料 ( )内は総支出額に占める委託料の割合	27,828,228 (19.9%)	28,503,679 (21.3%)	24,199,558 (18.7%)	30,243,778 (23.8%)	23,500,000 (19.0%)
	その他経費	40,371,042	43,905,839	47,417,079	43,293,686	49,231,000
合 計		140,006,587	133,947,274	129,256,782	127,136,227	123,531,000
利用者一人当たりの支出額		695	557	528	584	—
ウ 収支差額		-23,548,023	-12,039,473	-2,507,752	-6,636,842	-3,791,000
エ 市への納付金の額		0	0	30,000	100,000	120,000
オ 徴収委託の場合の徴収額		—	—	—	—	—
「収支状況」における市による状況分析	平成29年度も収支は約660万の赤字であった。光熱水費を削減し、経費削減に努めていただいているが、大・中アリーナの特定天井工事により、収支差額は赤字となっている。					

### 3 目標管理、評価等

#### (1) 適正な管理運営の確保

目標管理	評価の指標	アンケート調査による利用者満足度	(設定理由) 適切な管理運営の度合を客観的に判断する為
	目標	満足・やや満足あわせて85%以上	(設定理由) 管理目標として調査項目においてすべてに85%以上とする
	実績	(施設・設備の満足度) 満足・やや満足92% (スタッフの対応) 満足・やや満足95% (親しい友人や家族にどの程度すすめたい) 積極的にすすめたい・すすめたい95%	(分析) ※目標未達成時は詳細な原因分析 スタッフ対応に関して、満足73%・やや満足22%と満足に感じているご意見が多くある。しかし、中間的な評価が多く、全体的には利用者にとって不満は少ないが、高い満足度には達していないと考える。

**施設・設備の満足度**

**スタッフの対応**

**友人や家族にどの程度すすめたい**

<p>平等利用、維持管理、人員配置、事故対応、安全・緊急時対策等に関する特記事項</p>	<p>堺市民の積極的採用、障害者雇用継続。適宜AED・避難訓練等座学含め事故や緊急時対応の研修実施。自主的備蓄水の確保。アリーナ天井工事による安全確保。</p>
--	--

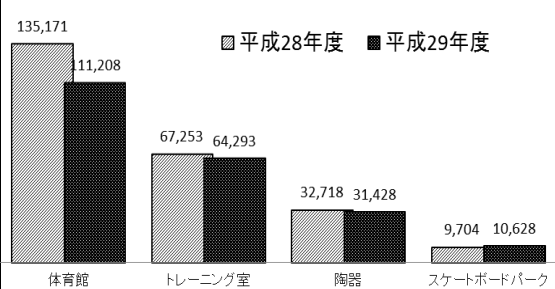
<p>利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応</p>	<p>アンケート回収→ご意見への回答→次の評価へ繋げる、というサイクルを確立し、より利用者とのコミュニケーションをとる対応を行った。</p>
------------------------------	--

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価		
	評価	A		A	
	具体的な理由	<p>社内で取り組んでいるCS向上研修を定期的に行い、接客レベルを向上させた。アンケートに関しては、ご意見・ご要望に対して開示返答を実施し利用者とのコミュニケーションも今まで以上に取るようにした。</p>		<p>利用者満足度は引き続き高い水準を維持している。原池フェスタを実施し、スケートボードパークで市長杯を開くなどして、スケートボードパークの利用促進・PRを積極的に行っており、スケートボードパークの利用者は年々増加している。</p>	
対応策等	<p>今年度は、11月から専用利用・自主事業が天井工事の影響で実施できなかった。全ての利用者へ満足度が上がる接客ができるように引き続き研修等行っていく。</p>		<p>今後も引き続き、利用者ニーズにあったトレーニングルームのプログラムを実施し、利用者満足度を高水準に維持できるよう努めていただきたい。</p>		

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(2)利用者サービスの向上への取組

目標管理	評価の指標	利用者数の増加	(設定理由) 利用者数の増加がサービスの向上に直結するため
	目標	利用者人数の前年比1%増加 利用者数240,500名	(設定理由) 指定期間5年間で26年度実績に対して5%増の施設利用者を目指とする
	実績	体育館 111,238人 トレーニング室 64,297人 陶器スポーツ広場 31,428人 スケートボードパーク 10,628人 合計 217,591人	(分析) トレーニング室が昨年度と比べると頭打ちになっている。しかし長年継続していただけている利用者は多く、午前中は混雑している。 ※目標未達成時は詳細な原因分析 スケートボードパークは昨年より増加した。



	平成28年度	平成29年度	前年比
体育館	135,171	111,238	82%
トレーニング室	67,253	64,297	96%
陶器スポーツ広場	32,718	31,428	96%
スケートボードパーク	9,704	10,628	110%
合計	244,846	217,591	89%

利用者サービス、利用促進、自主事業、人権尊重に配慮した情報提供、利用者意見・要望の反映等に関する特記事項

11月以降アリーナ天井工事期間中に小アリーナ、多目的室、研修室など使用できる場所でスクールを実施し、利用者維持に努めた。

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応

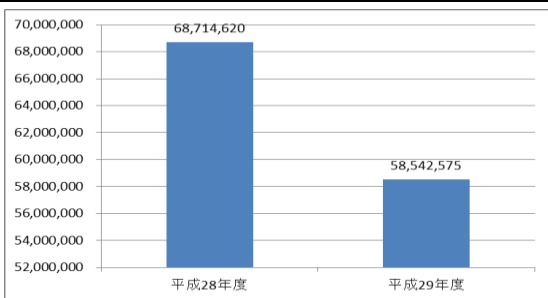
天井工事で利用がなかった専用利用・自主事業の利用者回復のイベント等対策を行い実施。

評価等	指定管理者の自己評価	市の評価	
	評価	B	B
	具体的な理由	天井工事による大・中アリーナ閉鎖期間中も、トレーニングルーム、小アリーナ、多目的室、研修室を有効的に使用し、定期走り方教室やイベントを実施し、利用者の維持に努めた。また、スケートボードパークは昨年度より増加した。	特定天井工事により、大・中アリーナの利用者数は約4万人減少したが、自主事業を小アリーナで行うなどして、小アリーナは2万人増加し、減少を最小限にするよう努めていただいた。
対応策等	トレーニングルームの利用者数について、長期継続の利用者は多く、午前中などは混雑しているが、昨年度に比べると減少している。今後は混雑緩和のための対策を行い、利用者数を回復させたい。	アンケートなど分析し、トレーニングルームの混雑が平準化されるようなプログラムを実施し、利用者数回復させていただきたい。また、原池公園駐車場拡張に伴い、大規模大会等を誘致するなどして、目標達成させていただきたい。	

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(3) 収支の実績

<b>目標管理</b>	評価の指標	利用料金収入	(設定理由) 利用促進が図られた結果が反映されるため
	目標	62,250,000円	(設定理由) 適正な管理運営を実施するため、予算額は指定管理者の目標と見ることができるため
	実績	58,542,575円	(分析) ※目標未達成時は詳細な原因分析  (目標は天井工事が無い場合の数字) 天井工事の影響で、約660万円赤字となった。経費については、28年度以降一部の水銀照明のLED化、オンデマンド監視による電力使用の管理、及び電力会社の変更、エネット(体育館)とのガス及び電気使用料(単価)の交渉実施。電気使用量、使用料金はどちらも28年度に対して約14%削減となった。



実績	
平成28年度	<b>68,714,620</b>
平成29年度	<b>58,542,575</b>

収入増加のための取組、収支状況、経営状況、経理事務等に関する特記事項	天井工事の為、大アリーナ及び中アリーナの収入が無かった為に収入減。年に1回イベントの教室を月1回の定期開催にし収入増加に努めた。
------------------------------------	--

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	四半期毎のアンケートはご意見、回答を公開し利用者と共に共有できるようにしサービス向上に努めた。CS向上研修を定期的を実施し利用者満足度の向上に努めた。
-----------------------	---

<b>評価等</b>	指定管理者の自己評価		市の評価		
	評価	B		B	
	具体的な理由	天井工事の影響で、約660万円の赤字となったが、経費については、28年度以降一部の照明のLED化、オンデマンド監視による電力使用の管理、及び電力会社の変更等実施し、電気使用量、使用料金はどちらも28年度に対して約14%削減できた。	特定天井工事の影響で大・中アリーナで前年度比約700万円の減収。また、トレーニングルームも前年度比約250万円の減収であったため、大幅な収入減となったが、光熱水費等の経費削減には努めていただいている。		
対応策等	体育館リニューアルを機に、大会誘致などで利用料金収入の増加が必須課題と考える。トレーニングルームにおいては、新たな層の獲得で利用料金、利用者の増加が必要ですので、積極的に対策を行う。	工事により減収となった分を回復させるとともに、トレーニングルームの減収の分析を行い、トレーニングルームの利用料金収入を回復し、収支差額をプラスにしていきたい。			

<b>評価基準</b>	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

原池公園体育館 利用率

※トレーニング室、研修室を除く

施設名	室名	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
原池公園体育館	大アリーナ	平日	56.4	63.2	63.5	65.2	57.6
		土日祝	97.4	96.7	98.0	98.8	96.1
		計	82.4	84.0	85.2	85.2	80.0
	中アリーナ	平日	70.1	74.3	78.9	83.9	79.1
		土日祝	98.1	98.6	97.9	83.9	94.8
		計	83.0	84.8	87.2	91.9	85.8
	小アリーナ	平日	94.3	98.2	96.5	95.2	98.9
		土日祝	72.8	76.9	86.2	87.5	85.3
		計	81.9	84.3	89.7	90.0	89.8
	多目的室	平日	54.5	56.0	55.8	52.9	53.3
		土日祝	96.2	97.8	98.1	96.1	90.5
		計	70.1	71.3	71.7	69.4	68.2
陶器野球場	平日	10.0	12.2	49.4	50.2	44.7	
	土日祝	76.1	76.1	92.4	93.2	85.1	
	計	24.3	31.7	68.8	69.6	61.3	
陶器テニスコート	平日	50.8	50.1	52.8	57.9	53.4	
	土日祝	95.4	94.9	96.9	97.7	95.0	
	計	65.2	64.5	68.1	71.7	66.9	